

中学校における性教育 静岡県中西部地区(志太榛原地域)での試み

日本産婦人科医会記者懇談会

平成27年7月8日

公益社団法人日本産婦人科医会 常務理事 前田津紀夫

1

志太榛原地域とは(静岡県中西部、人口約40万)



2

藤枝市・焼津市において中学校での性教育が実現した流れ

静岡県産婦人科医会が静岡県教育委員会より県立高校の性教育を委託される(平成14～18年度)。高校生に対する性教育の実施に協力しつつ、より若年からの性教育の必要性を訴える。

学校保健研修会(静岡県医師会主催)当地区の養護教諭対象に中学での性教育の実現を訴える(平成17年度)。

3

中学における性教育が実現するまでの講演会

講演日	講演場所	主催	対象者	講演名
2002.7.13	県立金谷高校	県教育委員会	高校3年生	
2002.12.19	県立藤枝西高校	県教育委員会	高校3年生	
2005.1.23	藤枝純心高校	県教育委員会	高校3年生	
2006.3.9	県立沼津聾学校	県教育委員会	全校生徒	
2006.6.11	県立藤枝東高校	県教育委員会	高校3年生	
2006.3.2	志太医師会館	静岡県医師会	学校保健研修会	学校保健 関係者約50名
2005.6.27	東益津公民館	焼津市医師会	養護教諭研修会	

4

18才以下の性感染症(当院データベースより) (1993～2015)

当院外来のデータベースに登録された2384例のうち、
258例が18歳以下であった(10.8%)。
中学生は7例(0.3%)。

中学生7例のうち分けは別に示す。

18才以下258例の内訳は、
クラミジア210例、淋菌感染16例、性器ヘルペス15例、
尖圭コンジローマ9例、トリコモナス7例、ケジラミ症1例
であった。

5

中学生の性感染症(当院データベースより) (1993～2015)

年齢	主訴	性感染症の種類	備考
14	妊娠初診	クラミジア	
15	パートナーの異常	淋菌感染	
15	帯下の色	クラミジア	
15	かゆみ	クラミジア	
15	妊娠初診	クラミジア	
15	パートナーの異常	クラミジア	
15	パートナーの異常	クラミジア	

6

当院における中学生の妊娠例(1993～2015)

年齢	初診週数	主訴	転帰	居住地	備考
14	妊娠14週	中絶希望	中期中絶	焼津市	
14	週数不明	下腹痛	不明	大井川町	来院せず
15	妊娠12週	中絶希望	中期中絶	静岡市	
15	妊娠6週	中絶希望	中絶手術	焼津市	
15	妊娠23週	中絶希望	不明	焼津市	来院せず
15	妊娠11週	中絶希望	中絶手術	焼津市	
15	妊娠6週	中絶希望	中絶手術	藤枝市	
15	妊娠6週	分娩希望	経膈分娩	焼津市	その後離婚
15	妊娠7週	中絶希望	中絶手術	焼津市	
15	妊娠16週	中絶希望	中期中絶	大井川町	
15	妊娠6週	妊娠検査希望	経膈分娩	焼津市	その後離婚
15	妊娠22週	生理不順	転帰不明	藤枝市	来院せず

当院における緊急避妊(1993～2015)

緊急避妊を目的に当院外来を受診した304例のうち、18才以下が44名、中学生が2名であった。

2名の中学生のうち1名の情報源は我々が行った性教育講座であった。

藤枝市内中学校における性教育（平成18年度～）

「エイズ対策事業（思春期保健事業）」

原則各年度一校に講師（医師または助産師）

中学校の授業時間（1時間）を利用

市内全中学が対象（一校が助産師を選択）

*平成18年に行われた学校保健研修会（前述）等を参考に実現

9

事業の目的（藤枝市）

10代の人工中絶、エイズを含めた性感染症罹患率の増加などの問題に対応するため、性に関する健全な意識を養うとともに、性や性感染症予防に関する正しい知識の普及を図る。（藤枝市長よりの依頼文の文面どおり）

10

健康講座の内容(藤枝市)

- (1) 医療現場における青少年の**性感染症**や**妊娠中絶**の実態から自分や相手を大切にしたい望ましい男女のつきあい方を教える。
- (2) **出産**場面に立ち会う体験談から、命はかけがえのないものであるという意識を深め、生きる力や自立する力の大切さを自覚する。
- (3) 自分や相手の「命」の存在を大切にしながら、**妊娠の適齢期**など正しい情報を得て豊かな人生を展望する。

(藤枝市長よりの依頼文の文面どおり)

11

藤枝市内中学校性教育講座日程

中学校名	実施日	対象学年	対象人数
青島中学校	2006.7.13	2,3年生	400名
高洲中学校	2009.10.30	3年生	
西益津中学校	2010.12.7	3年生	
青島北中学校	2012.11.29	2,3年生	234名
岡部中学校	2013.11.28	3年生	
葉梨中学校	2008.7.8	3年生	
藤枝中学校	2014.12.22	3年生	
瀬戸谷中学校	2014.10.27	全校生徒	47名

12

焼津市内中学校における性教育（平成26年度）

「思春期からの性教育・健康教育講座」

国の「地域少子化対策強化交付金」を活用した事業

中学校の授業時間（1時間）を利用

市内全中学が対象（各中学の手挙げ方式）

平成26年度の単年事業

*平成27年度も交渉中。

現在、焼津市医師会・産婦人科医会は焼津市教育委員会より市内2中学の性教育・健康教育講座の依頼を受けている。

13

事業の目的（焼津市）

近年、若者の性行動の低年齢化が急激に進み、社会問題となっている。テレビや雑誌、インターネットなどで間違った性情報があふれている状況の中で、人工中絶と望まない妊娠を防ぐために、妊娠出産について、妊娠の適齢期など正しい情報提供を行う。（焼津市長よりの依頼文の文面どおり）

14

健康講座の内容(焼津市)

- (1) 医療現場における青少年の**性感染症**や**妊娠中絶**の実態から自分や相手を大切にする望ましい男女のつきあい方を教える。
- (2) **出産**場面に立ち会う体験談から、命はかけがえのないものであるという意識を深め、生きる力や自立する力の大切さを自覚する。
- (3) 自分や相手の「命」の存在を大切にしながら、**妊娠の適齢期**など正しい情報を得て豊かな人生を展望する。
(焼津市長よりの依頼文の文面どおり)

15

「思春期からの性教育・健康教育講座」実績(焼津市、平成26年度)

中学校名	実施日	対象学年	対象人数
焼津中学校	2014.12.5	全校生(保護者可)	401名
大村中学校	2015.3.9	3年生	125名
豊田中学校	2014.11.19	3年生	185名
小川中学校	2014.7.23	3年生	133名
東益津中学校	2014.7.2	3年生	94名
大富中学校	2014.11.26	1年生	228名
和田中学校	2015.3.11	3年生	59名
港中学校	2014.10.27	3年生	143名
大井川中学校	2014.7.22	3年生	200名

16

中学校における性教育の実際

- (1) 事前に対象校の校長、養護教諭と話し合い、
「性交」、「人工妊娠中絶」、「避妊」、「緊急避妊」
などの用語を使用し、具体的に解説することの
希望
- ・ **養護教諭**は全員強い問題意識を持っており、より
実地的な表現を用いた話を希望
 - ・ **校長**も多少の温度差があったものの、全員当方の
希望を容認

17

中学校における性教育の実際

- (2) 性知識をまだ十分に持たない生徒がいる
ことにも配慮する。
- ・ 中学生は性体験はもちろん、性の知識に対し
ても個人差が大きい
 - ・ 性に対する興味が薄い生徒にも配慮し、**全て
の生徒に役立つ**話を心がける
- *親の愛情に恵まれない**施設の生徒**にも配慮

18

中学校における性教育の実際

(3) 性交を行わないことがもっとも望ましい姿であることを強調する。

- ・ 避妊、緊急避妊、人工妊娠中絶の知識を提供しつつ、中学生の立場では「性交ありき」は望ましい姿でないことを強調する

19

性教育講座の具体的な内容

- (1) 分娩や命の誕生の尊さ
- (2) 妊娠適齢期の話
- (3) 望まない妊娠、人工妊娠中絶
- (4) 避妊・緊急避妊
- (5) 性感染症
- (6) 性の持つ負の側面

20

(1) 分娩や命の誕生の尊さ

1つの精子が選ばれ受精卵になる確立の低さの話を通じて、この世に命を得ることが如何に大変で素晴らしいことであるかを強調する(自分自身の価値を再認識してもらう)

出産に夫が立ち会い、多くの人に祝福されて赤ちゃんが誕生するシーンを映像で見せ、出産のすばらしさを再認識してもらう

21



日本産婦人科医会「思春期って何だろう？性って何だろう？」スライドより

22



日本産婦人科医会「思春期って何だろう？性って何だろう？」スライドより

23

(2) 妊娠適齢期の話

卵子が女性の年齢とともに劣化していき、妊孕率が低下する知識を提供し、事情が許す限りにおいて若いうちに出産することの大切さを強調する

妊婦の健康を預かる立場として、妊婦の年齢が高まるにつれ、母体とともに児のリスクも高まって行くという話

24

これからは教育現場にて、

「女性が子どもを授かる時期には限界がある」

ことをしっかり伝えていくべきである。

今まではそんなことを教える場はどこにもなかった！

25

(3) 望まない妊娠、人工妊娠中絶

人工妊娠中絶が女性の体と心に重大な影響を与えると
いう話

現実に妊娠継続が不可能となった際、人工妊娠中絶を
安全に受けるための知識の提供

(手術可能な施設、母体保護法指定医師の存在、妊娠
中絶の可能な妊娠週数、妊娠週数の数え方等)

26

(4) 避妊・緊急避妊

避妊方法の解説と中学生にふさわしい避妊法

緊急避妊の情報提供

27

中学生の皆さんの避妊は

■(1) セックスをしない！

本当にやむを得ないなら・・・

■(2) 避妊効果なら OC (ピル) がベスト

■(3) 性感染症を見据えるとコンドーム

もう一度言います。

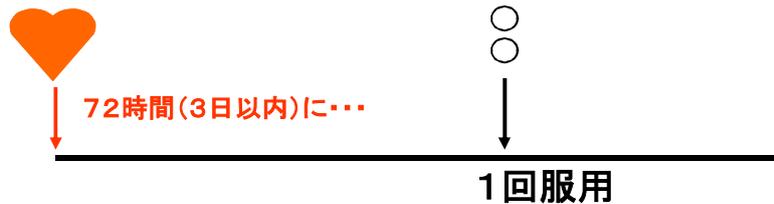
何もしないでセックスすると中学生でも妊娠します！

28

性交後避妊法とは？

ぜひ、ぜひ知っておいて下さい！

避妊をしない又は避妊に失敗し、妊娠してしまったかも知れない場合の薬による避妊法



○ 失敗率は数% ○ 重篤な副作用はない

29

(5) 性感染症

性感染症の総論・各論

AIDSとHIV感染の違い

性感染症が女性の体と心に負の影響を与える点、
母子感染が起こる点

不特定多数の異性と性関係をもたない

30

(6) 性の持つ負の側面

人間の性には3つの側面がある

性の社会性・生殖性・快楽性

性の快楽性を追求するが故に性が
商品化され犯罪が起こる

31

結語

中学生の望まない妊娠、性感染症を予防するために、
早い時期から正しい性知識を提供する必要がある。

そのためにも、中学校からの性教育は重要である。

中学校の教育現場の最前線では、具体的な用語を用いた
実際的な性教育を求めている。管理職といえども同じ
立場である(建前による温度差は多少存在する)。

中学生の時期は性に対する興味も、性行動そのものも
個人差が大きいいためきめ細かい配慮が必要である。

32

ご静聴ありがとうございました

今後とも、10代の生徒(中学・高校)への性教育の必要性を訴えていきたいと思えます。ご協力よろしくお願い致します。